

診療科目：泌尿器科

カテゴリー：選択科目

一般目標：泌尿器科疾患の一般診療に必要な知識・基本的な考え方・技術を習得する。

【個別目標】

- ・ 研修医としての基本的な態度・姿勢の習得
- ・ 自分の能力の限界を十分理解し、手に余るような状況では直ちに上級医に相談する。
- ・ チーム医療を原則とし、コメディカルとの連携を大事にする。
- ・ 疾患のみを診るのではなく、患者家族の置かれた状況を理解し、診療する。
- ・ 泌尿器科疾患症例に対する問診、診察（視診・触診）の習得
- ・ 羞恥心の感じやすい疾患が多く、患者に対しそれらの配慮をする。
- ・ 患者の訴えから、鑑別診断を想像し、それらに対応した診察を行う。
- ・ 泌尿器科診療における検査および処置の修得
- ・ 問診、診察で得られた情報から、必要な検査を行う。
- ・ エコー検査（腎、膀胱、前立腺、陰嚢、など）
- ・ 経尿道的検査・処置（導尿、尿道カテーテルの挿入留置、膀胱尿道鏡検査、逆行性尿道造影、逆行性腎盂尿管造影、膀胱造影（排尿時撮影含む）など
- ・ 前立腺針生検
- ・ 経皮的腎瘻造設 など

- ・ 泌尿器科領域の救急疾患に対する初期対応の習得
 - ・ 尿管結石疝痛発作
 - ・ 尿路性器炎症性疾患
 - ・ 急性陰嚢症
 - ・ 尿閉、膀胱タンポナーデ など

- ・ 泌尿器科疾患の適切な術前術後管理の習得
 - ・ 膀胱全摘・尿路変更術

- ・腎摘除術、腎部分切除術
- ・経尿道的手術、経皮的腎手術 など

- ・泌尿器科手術の習得（基本的な手術、高難易度手術の助手）
 - ・包茎手術
 - ・陰囊手術
 - ・経尿道的膀胱および前立腺手術
 - ・開腹手術の第一助手
 - ・鏡視下手術のスコピスト など

- ・症例プレゼンテーションの習得
 - ・地方会での症例報告
 - ・泌尿器学術誌への論文作成 など

【指導原則、方法】

- ・泌尿器科外来診療を担当し、指導医とともに診療する過程で、患者の病態把握を適切に行い、治療戦略の決定の過程を体験・理解し、具体的な手技について学ぶ。
- ・泌尿器科疾患の入院症例を主治医もしくは担当医として担当し、指導医とともに診療する過程で、患者の病態および社会的背景などを適切把握し、治療戦略を決定する過程を実地体験・理解し、具体的な手技について学ぶ。
- ・泌尿器科カンファレンスや、他科臨床病理検討会に参加し、詳細な症例検討を通じて一般臨床を学ぶ。